

高松塚古墳壁画・石室石材の新施設への移動方法について

1. 基本方針

- ・仮設修理施設での運用実績から、新施設への移動は、水平移動・垂直移動の範囲で行う（傾斜角度 1%以下等、昇降装置の利用等）
- ・仮設修理施設から新施設への経路は新施設の設計と連携して安全な経路とする
- ・風雨避けを設置する

2. 壁画移動手段

仮設修理施設から新施設への移動方法について、現状で考えられる方法は、表 1 のとおりである。令和 8 年度中から、車両等の振動実験などを実施し、移動プランを検討する。

表 1 壁画・石室石材の移動手段

	移動手段	課題
案1	【美術品専用車両】 ・専用車両により、小さな振動で移動	・積載重量の超過 ・パワーゲートの耐荷重を超えるため、車両への積降ろしに別途の重機が必要となり、新施設への搬入口も大きくなる ・仮設修理施設を現状維持させた状態で新施設を整備するため、車両の入構、転回スペースが課題
案2	【重量物用特殊車両（フォークリフト）】 ・上下移動、水平移動 ・比較的小スペースで転回	・重量物用特殊車両の動作確認、振動について調査必要
案3	【仮設専用通路の設置】 ・現状の壁画移動法に近い方法で移動	・仮設通路の設計、施工が発生 ・仮設修理施設と新施設の高低差に対する対策が必要
案4	【その他】 ・様々な技術を検討する。	

3. 石材架台の高さ調整

高さ調整法の検討

●スケジュール（予定）

R8 移動手段を想定した振動実験実施 架台高さ調整の検討

R9 移動プランの設計 架台高さ調整の検討等

R10～ 移動シミュレーション等